

## マガン（カモ科） 全長72センチ

いま、市内の田んぼは秋の収穫作業で大忙しである。黄金色に染まった田んぼは半分ほどが刈り取られ、農作業も終盤に入った。

9月27日、コンバインが轟音ととどろかせている中、刈り取りが終わった田んぼの中に、マガン4羽が見つかった。まさかこんなに早く、しかも農作業中の真ただ中で飛来していたとは驚いた。

大潟村周辺の上空を通過するマガンの編隊飛行情報が入っていたので、不思議ではないが、大仙市内に飛来したのは今回が一番早い季節である。



神宮寺岳はここから見るのが一番美しい。下にマガンが見えますか。

夢中になって落穂を食べているが、必ず1羽が頭をもたげて周囲を見渡していた。4羽のマガンは家族とされます。出来立ての美味しいあきたこまちを食べているのでしょう。

隣の田んぼを通過するトラクターやコンバインなどに怯える様子もなく、じっくりと味わっています。



あきたこまちは美味しいでしょう。



周囲を警戒中。

これまで市内に飛来したマガンを幾度となく観察してきたが、全て農作業が終わってからであった。黄金色に染まった田んぼに囲まれ、近くでは作業中の機械が忙しく動き回る中、人間との距離がこんなにも近いと絵になる光景である。



コンバインが長い首を伸ばして、軽トラを待っている。



直ぐわきをトラクターが通過しても食事に夢中。